



宗祖法然上人 800回大遠忌 通信 号外 I

2007年(平成19年)3月

「八〇〇回大遠忌テーマ」

法然上人と今、
すべてのいのち



法然上人八〇〇回

大遠忌奉修

平成二十三年
自 四月二十五日(月)
至 五月一日(日)

法然上人の行跡を顕彰し
その功績を偲びませんか

法然上人を歩く旅
(二七〇キロのウォークラリー)

法然上人がお生まれになったのは現在の岡山県です。この生誕の地から京都比叡山までの約二七〇キロを十四回にわけて歩くものです。今まで三回を数え、次回は五月十三日(日)に美作土居駅から播磨徳久駅までの十八・五キロを歩きます。

※詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

法然上人へ絵手紙を
書いてみませんか

法然上人に手紙を出すという仮想の中で、自分の想い、願い、夢などを絵手紙で表現していただこうというものです。

応募期間(第一回)

平成十九年十月～十二月末

応募規定

葉書大に絵手紙を書き封書で郵送(個人情報保護のため)
絵にはひと言添えてください。

応募資格 不問

※応募作品の著作権は主催者に帰属。

法然上人最後のみ教え
「一枚起請文」を
なぞり書きしてみませんか

管長猊下ご染筆の色紙(印刷)を入れた写経セットには、写経用紙とともに、鉛筆やボールペンで、手軽になぞり書きできる用紙も同封しています。
ぜひこの機会にご本山への奉納をおすすめいたします。
奉納回向をして御影堂下の特設納経所に一年間お祀りいたします。

写経用紙セット

一セット 一、〇〇〇円
(含 奉納回向料)

宗祖法然上人800回大遠忌記念事業事務局
〒606-8445
京都市左京区永観堂町48
総本山 永観堂禅林寺内
電話 075-761-0007 FAX 075-771-4243
URL: <http://www.eikando.or.jp/daionki/>

2007/03

宗祖法然上人800回大遠忌テーマ ——「法然上人と今、すべてのいのち」——について

南無阿弥陀佛

往生之業念佛為先

(往生の勤めは先ず念佛すること)

右の文は、私達の宗祖法然上人が著された『選択本願念佛集』の標章の文です。法然上人のお念佛の教えを信仰する私達の「いのち」です。私達は後生必ず西方極樂浄土に往生し、そこで佛となることができるのです。だから、迷わず念佛申し続けるのです。再度申します、信仰の「いのち」はお念佛です。

「すべてのいのち」の一つの考えを述べます。私達がこの世で生きる事の出来る寿命も「いのち」ですし、過去から未来へと連綿と

ずしては考えることは出来ませんね。それだけに別々に「老・病・死」をそれぞれ関連したものととして考えていかなければなりません。

団塊の世代の方々が定年を迎えられ、さあこれからあれもしようこれもしようとお考えでしょうが、時間が出来たとたん、連れ合いに先立たれたらと不安を覚える人が多いのです。今まで外にばかり気がいって、自分の周りのことがあまり見えていなかったのでしょうね。年と共に人間ができてきて「枯れ」て良くなるどころか、性格がもろに出て孤独が襲ってきて悪い方ばかり思考がいつてしまい不安になるのです。特に、情報化社会がもたらす情報が逆に初期高齢者にのしかかってくるのです。人間はひとりでは生きられないのです。今までもそうですがこれから

続いている永遠の「いのち」もあります。法然さまはお念佛に依って、この永遠の「いのち」と一体になることを勧められたのです。知識を極めたり、厳しい修行をしたりして悟りを得ていこうとするのではなくて、阿弥陀さまの謂れを聴いて、聴いて疑いながらも身を任せていくのです。その為には、あらゆる修行などを捨てていくのです。そして、間違ひなく阿弥陀さまと一体になった世界に氣付くことが出来たら自分自身を磨き上げていかなくてもなりません。

高齢化社会になってきました。「生・老・病・死」の四苦を問題にするとき、まさに現代は「老・病・死」は老齡とのかかわりをは

も多くの人々の支えをどれだけ受けていくかと云うことに思いを馳せなければなりません。人間は全て自分中心になりがちです。でも、多くの人々への思いやりと支え合えるかわりを大切にしなければなりません。

連綿と続く「いのち」と一体になるお念佛の道を歩む人は、互いに励ましあい、語り、充実した老年を生き、終生教えを聞き学び続け、語らいを共にしていくのです。



火除けの阿弥陀如来像